

「日本タイトルだけ大賞」特集①

日本を代表する解剖学者の養老孟司氏が書いた『ハカの壁』（新潮新書）という本に出会ってから、本のタイトルの付け方に興味を持つようになりました。ネットで調べてみると、「内容はまったく評価の対象とせず、タイトルが面白い本」を表彰する「日本タイトルだけ大賞」という賞があることを知り、特集を組んでみました。作家の山田真哉さん、ブロガーのヨシナガさん、オーディオブック配信を手がけるオトバンクの上田渉さんによって立ち上げられたもので、過去9回開催されています。今回は第1回から第4回までを紹介いたします。

<日本タイトルだけ大賞2009（第1回）>

- ◆大賞
『ハッテルとフェーテルー本当に残酷なマネー版グリム童話』
著者名：マネー・ハッタ・チャン 出版社：経済界
- ◆選考委員個人賞
＜山田真哉賞＞
『31年ぶりにムショを出た一私と過ごした1000人の殺人者たち』
著者名：金原龍一 出版社：宝島社
- ＜上田渉賞＞
『会社人生で必要な知恵はすべてマグロ船で学んだ』
著者名：齊藤正明 出版社：毎日コミュニケーションズ
- ＜ヨシナガ賞＞
『メキシコ人はなぜハゲないし、死なないのか』
著者名：明川哲也 出版社：晶文社
- ＜土井英司賞＞
『「1秒！」で財務諸表を読む方法』
著者名：小宮一慶 出版社：東洋経済新報社
- ＜斎藤広達賞＞
『女装する女』
著者名：湯山玲子 出版社：新潮社
- ＜小飼弾賞＞
『ババア・ウォーズ 新たなる美貌』
著者名：中村うさぎ 出版社：文藝春秋
- ◆残念賞
『できる男は乳首で決まる』
著者名：松屋壮 出版社：幻冬舎ルネッサンス



<日本タイトルだけ大賞2010（第2回）>

- ◆大賞
『スラムダンク孫子』
著者名：遠越段 出版社：総合法令出版
- ◆選考委員個人賞
＜上田渉賞＞
『Excelでモテるきれいな表とグラフ作成のコツ』
著者名：井上 香緒里 出版社：ソシム
『エクセルができたくらいで好きになんかならないんだからねっ！』
著者名：学研パブリッシング 出版社：学習研究社
- ＜小飼弾賞＞
『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』
著者名：岩崎夏海 出版社：ダイヤモンド社
- ＜斎藤広達賞＞
『即答するハカ』
著者名：梶原しげる 出版社：新潮社
- ＜そのの賞＞
『ふつうの女の子がルンルンお金持ちになる方法』
著者名：佳川奈未 出版社：ダイヤモンド社
- ＜土井英司賞＞
『これからの「正義」の話をしよう』
著者名：マイケル・サンデル 出版社：早川書房
- ＜古瀬絵理賞＞
『私の胸は小さすぎる』
著者名：谷川俊太郎 出版社：角川学芸出版
- ＜山田真哉賞＞
『借金お嬢クリス 42兆円耳を揃えて返してやりますわ』
著者名：筑摩十幸 出版社：キルタイムコミュニケーション
『借金お嬢クリス2 42兆円踏み倒してやりますわ』
著者名：筑摩十幸 出版社：キルタイムコミュニケーション
『借金お嬢クリス3 令嬢はいかにして42兆円を返済したか?』
著者名：筑摩十幸 出版社：キルタイムコミュニケーション



- ＜ヨシナガ賞＞
『放屁という覚醒』
著者名：O・呂陵 出版社：世織書房
- ◆残念賞
『命とひきかえにゴルフがうまくなる法』
著者名：小暮堅三 出版社：徳間オリオン

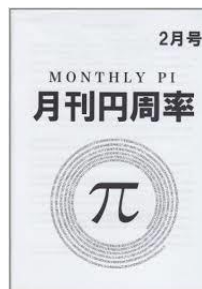
<日本タイトルだけ大賞2011（第3回）>

- ◆大賞
『奥ノ細道・オブ・ザ・デッド』
著者名：森晶磨 出版社：PHP研究所
- ◆選考委員個人賞
＜山田真哉賞＞
『社員みんながやさしくなった』
著者名：渡邊幸義 出版社：かんき出版
- ＜ヨシナガ賞＞
『なまけものダイエットシリーズ1 息するだけダイエット』
著者名：古谷暢基 出版社：マガジンハウス
- ＜上田渉賞＞
『タイムスリップ聖徳太子』
著者名：鯨統一郎 出版社：講談社
- ◆残念賞
『モンキー・D・ルフィの「D」はドラッカーだった』
著者名：阿部美穂 出版社：経済界



<日本タイトルだけ大賞2012夏の陣（第4回）>

- ◆大賞
『月刊円周率 2月号』
著者名：月刊円周率編集部 出版社：暗黒通信団
- ◆選考委員個人賞
＜山田真哉賞＞
『神さま、そろそろカーブに優勝を！』
著者名：迫勝則 出版社：宝島社
- ＜ヨシナガ賞＞
『ウルトラマン妹』
著者名：小林雄次 出版社：PHP研究所
- ＜矢島雅弘賞＞
『フツダのいる女子会 よいのです。人生は悩めるものなのです。』
監修：梶屋光里、編集：Lotus8
出版社：ブルーロータスパブリッシング
- ◆残念賞
『バレーボールは真鍋に学べ！一全日本女子真鍋政義監督初のテクニカルブック』
著者名：真鍋政義 出版社：日本文化出版



第2回小飼弾賞の『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』は2010年の書籍売り上げ年間ランキング1位（121万1835部）となり、前田敦子主演で映画化されるなど社会現象を巻き起こしました。